

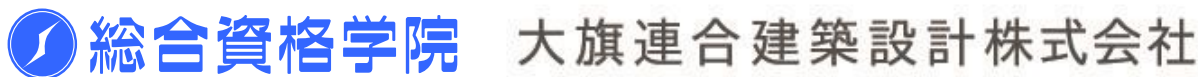
ひろしま建築学生 チャレンジコンペ 2024

実施要領

主催



協賛



建築学生のみなさんへのメッセージ
～本設計コンペ実施にあたって～

建築はしばしば「器（うつわ）」に喩えられて、説明されることがあります。

「器の本質は、何もない「虚（うつろ）」の部分にある。そこが液体を満たすという器の目的を果たす部分だから」

という老荘思想の教えを例に引いて、

「建築の本質もまた同様で、用を果たす何もない「空間」がその本質である」と続きます。

「だから、建築が何でどのようにできているかなどは、瑣末な問題なのだ」と、さらに続くことさえある。

一見もっともなようですが、果たしてそうかなとも思ってしまう。

例えば同じ日本酒を、黄瀬戸の茶碗で飲むときと、ペカペカのプラコップで飲むときは、経験として同質でしょうか。僕は圧倒的に黄瀬戸の茶碗で飲みたい。

同じように建築も「空間の構成」だけではなく、それを具体化する「物質の構築」という側面は大切な要素なはずです。

「実現されないこと」が前提の学校課題では発現することのない、建築の具体性やその周囲に広がる場所性。そんなもう一つの重要な建築の側面を、空間に加えた上で、課題に取り組んでもらいたいと思います。

テーマは「港の待合所」。

それは、出会いや別れ、シークエンスといった空間構成的問題に加えて、海辺の厳しい自然環境に応じた素材や構造などといった物質構築的側面も重要になるでしょう。

先の黄瀬戸の茶碗のような、豊かな経験が現象する魅力的な建築を期待します。



審査委員長

MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 原田 真宏

目 次

1	趣旨	・・・P	1
2	対象建築物	・・・P	1
3	テーマ	・・・P	1
4	審査基準及び方法	・・・P	2
5	賞及び賞金等	・・・P	2
6	日程	・・・P	2
7	審査委員会	・・・P	3
8	問合せ先	・・・P	3
9	設計条件等	・・・P	3
10	参加者の資格	・・・P	8
11	手続き等	・・・P	8
12	一次審査	・・・P	10
13	最終審査（二次審査）	・・・P	10
14	現地調査時の注意事項	・・・P	11
15	実施要領に関する質問の受付及び回答	・・・P	11
16	最優秀作品の取扱い	・・・P	12
17	その他の留意事項	・・・P	12
・	（様式1）作品提出届	・・・P	14
・	（参 考）位置図、付近見取図 配置計画図（案） 接岸するフェリーの動線 現地写真	・・・P	15

1 趣旨

広島県は、魅力ある建築物が県内に持続的に創造されていく環境づくりに向け、クリエイティブな人材の育成に取り組んでいます。この設計コンペは、人材育成の一環として、建築学生を対象に、小規模な公共建築物の設計コンペを実施するものです。

令和6年度は、港の旅客待合所を題材として全国の建築学生を対象に実施します。また、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品の提案者は、実際の設計に関わっていただきます。

2 対象建築物

大西旅客待合所（広島県豊田郡大崎上島町中野 4809-4）

（大西港の利便性向上のための棧橋等港湾施設の改良事業に伴い、既存待合所の改築（建替）を行う予定です。）

3 テーマ

「つながる瀬戸内 くらしと旅の融け合う 待合所」

大崎上島町は、温暖な気候の瀬戸内海のほぼ中央に位置している橋のかかっていない離島の町です。島の道沿いにはみかん畑やレモン畑が多く、かつては風待ち・潮待ちをする船が多く立ち寄ったことから造船業なども盛んな町です。

大西港は、その大崎上島町と東広島市をつなぐ、重要な港です。

この港は、通学や通勤、島民の通院、生活に必要な物資の輸送などに利用されることが多く、日常生活に密着した必要不可欠な役割を担っています。

こうした日常生活の“くらし”の中で港を利用される方にとって、より快適で利用しやすい待合所が求められています。

また、“旅”で初めて港を訪れた方にとっても、快適でもてなすような待合所とすることも求められます。

それぞれの目的の方たちが集まり、同じ場所で同じ時間を共有する空間が今回の題材です。

瀬戸内の潮や風の流れがつかないできた文化や風土の面影があちこちで感じられる、そんな島の玄関口にふさわしい待合所を提案してください。

そして整備した待合所の良さを持続可能なものとするため、港や待合所を管理される方の維持管理のしやすさに配慮することも忘れないでください。

スケジュール(予定)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
チャレンジコンペ			
棧橋等港湾施設 改良事業 【旅客待合所】			

※旅客待合所の工事時期は、港全体の改良事業の実施手順によることとなるため現在調整中です。

4 審査基準及び方法

(1) 審査基準

本設計コンペの選考は、「3 テーマ」を中心に、「9 設計条件等」に基づき、デザイン、使いやすさ、維持管理及びライフサイクルコストへの配慮などを勘案し、総合的な観点から審査を行います。また、実現性を有していることは重要です。

(2) 審査方法

審査は2段階選抜方式とします。

「7 審査委員会」に記載する審査委員会が審査を行い、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点、審査委員長特別賞作品等数点を選定します。

ア 一次審査

一次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定し、審査委員長特別賞作品数点を決定します。

詳細は、「12 一次審査」をご覧ください。

イ 最終審査（二次審査）

最終審査（二次審査）は公開審査とし、提案者本人によるプレゼンテーション及び質疑応答により、提案の内容と実現性等を審査し、入選案の中から最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点を決定します。

詳細は、「13 最終審査（二次審査）」をご覧ください。

5 賞及び賞金等

最優秀作品賞受賞者等には賞金等を授与する予定です。

賞	賞金等
最優秀作品賞 1点	賞金40万円、賞状、トロフィー
優秀作品賞 2点	賞金20万円、賞状、トロフィー
入選作品賞 2点	賞金 5万円、賞状
審査委員長特別賞等 数点	賞状

※賞金は協賛企業から授与されます。

6 日程

区分	日程
実施要領配布開始日	令和6年7月6日（土）
応募登録申込受付期間	令和6年7月6日（土）～令和6年9月5日（木）
質疑受付期間	令和6年7月6日（土）～令和6年8月9日（金）
提案作品受付期間	令和6年9月6日（金）～令和6年9月13日（金）
一次審査結果発表	令和6年10月中旬
最終審査（二次審査） 及び審査結果発表・表彰式	令和6年11月16日（土）

7 審査委員会

本設計コンペの審査は、次の「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2024 審査委員会」が行います。

区分	氏名	所属等
審査委員長	原田 真宏	建築家、MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 共同主宰 芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
審査委員	キノシタ ヒロシ	建築家、キノシタヒロシ建築設計事務所主宰 広島工業大学非常勤講師
	奥本 卓也	建築家、奥本卓也建築設計事務所代表取締役 広島女学院大学非常勤講師
	小田 博	大崎上島町副町長
	新村 貴史	広島県土木建築局空港港湾担当部長
	川畠 満	広島県土木建築局建築技術担当部長

8 問合せ先

事務手続き窓口	広島県営繕課 営繕企画グループ
住所	広島市中区紙屋町 1-1-20 いよぎん広島ビル6階
電話	(082)513-2311
FAX	(082)224-6411
電子メール	doeizen@pref.hiroshima.lg.jp

※本設計コンペに関するの問い合わせは「8 問合せ先」に行うこととし、施設管理者等に直接問い合わせることは厳に禁止します。

◆本実施要領及び様式のダウンロード先URL：

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/miryoku/challe-com2024.html>

広島県 HP 内 ひろしま建築学生チャレンジコンペのホームページ（以下「県HP」という）

9 設計条件等

(1) 計画敷地条件

ア 所在地	広島県豊田郡大崎上島町中野字長江谷 4809-29 ほか（大西港の一部）
イ 敷地面積	2,812㎡
ウ 区域区分	都市計画区域外
エ 用途地域	指定なし
オ 建蔽率	指定なし
カ 容積率	指定なし
キ 地区計画	なし
ク 都市設備	上水道：あり 下水道：あり ガス：都市ガス 電気：あり

(2) 設計と条件

ア 建物概要

既存待合所を解体し、待合所を新築します。

名 称	構造・規模	
既存待合所	構 造	鉄骨造 (待合室・事務室・売店・湯沸・倉庫・便所)
	床面積	112.50 m ²
	階 数	地上1階建て
新築待合所	構 造	提案による。*
	床面積	約 113 m ²
	階 数	地上1階建て

※ 津波による浸水(0.5m以上1.0m未満)が想定される区域内であることから、浮力の影響を勘案するなど、容易に転倒や滑動する恐れがないよう、公共建築物として機能上求められる性能を十分に考慮すること。

※ 海域からの風を直接受ける立地であることから、屋根や外壁面が受ける風圧力にも十分に配慮すること。(建物形状、外部仕上げ材、ガラス面の面積等を含む。)

イ 工事費：7,000万円以下(税込み) なお、税率は10%を見込んでいます。

※ 上記工事費内で、実現可能な提案としてください。なお、工事費には建築工事費・電気設備工事費・機械設備工事費を含みます。※外構工事費は含みません。

※ 工事費の積算は、公共建築工事積算基準を参考としてください。なお、工事費には、直接工事費の他、共通仮設費や現場管理費などの共通費が含まれます。

ウ 所要室

区 分	設置器具等	規模
待合室	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板2箇所程度(掲示スペースはH=1.2mで計5m²程度) ・TV設置スペース(既存の42インチのものを利用。吊り下げでも壁掛けでも可) 	天井高3.0m 約55m ²
事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・待合室とのカウンター(キャッシュデリー(石製300mm×300mm×40mm、現地写真⑫番参照)を設置) ・ミニキッチン ・冷蔵庫スペース(W500mm×D500mm程度) 	約12m ²
売店	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室及び待合室とは別区画(施錠が可能)となるよう配置 	約13m ²
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫は売店からのみの利用 ・窓は不要 	約6m ²

多目的トイレ	<ul style="list-style-type: none"> • 大便器（洋）1 温水洗浄便座 • 洗面 1 • ベビーシート • ベビーチェア • オストメイト配慮器具 • 荷物置き • 掃除用散水栓 	約 5.5 m ²
男子トイレ	<ul style="list-style-type: none"> • 大便器（洋）2 温水洗浄便座、荷物置き • 小便器 2 荷物置き • 洗面 1 • ベビーチェア • 掃除用流し 1 • 掃除用散水栓 	約 11 m ²
女子トイレ	<ul style="list-style-type: none"> • 大便器（洋）1 温水洗浄便座、荷物置き • 大便器（和）1 • 洗面 2 • ベビーシート • ベビーチェア • 掃除用散水栓 	約 10 m ²
合 計		約 108.5 m ²

エ 留意事項

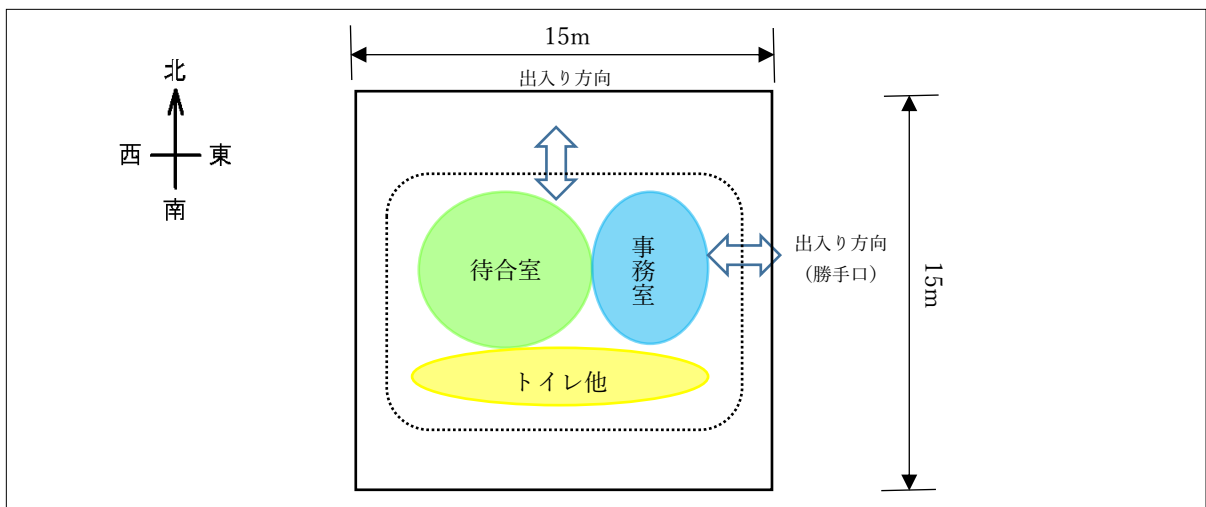
【内部計画について】

- 既存待合所の1FLはGL+300mmとなっておりますが、それに倣う必要はありません。
(新築待合所の1FLはGL+100mm程度を想定しています。)
- 待合室の出入口は、北側に計画してください。
- 事務室からフェリー、浮棧橋、待機レーンが容易に確認できるように計画してください。(フェリー、浮棧橋、待機レーンがよく見えるよう窓を計画してください。フィックス窓、開閉式のいずれでも可です。)
- 事務室の待機レーン側に勝手口を計画してください。勝手口は円滑な誘導案内や、小荷物配送車の荷下ろしをするために設置します。
- 事務室は、土足利用が可能な仕様としてください。
- 事務室のカウンターは、販売員が客とフェリーを容易に目視できる位置に計画してください。
- 売店は、事務室及び待合室とは別区画として施錠可能としてください。(売店の営業時間は9:00-18:00頃となる見込みです。現状は横引きシャッターで区画されています(現地写真⑭番参照)。また、事務室と売店の間に、既存のようにカウンターを設置する必要はありません。)
- トイレは、バリアフリーに配慮した、高齢者、障がい者、乳幼児連れの人でも利用しやすい計画としてください。

- 各トイレの清掃方式は湿式とし、掃除用散水栓を設置してください。また、抗菌防臭仕様の仕上げとしてください。ブース内、小便器前面には、荷物置きのかか棚を設置してください。
- 各トイレには、換気のための窓を設置してください。
- 男子トイレ若しくはトイレ外に清掃用具収納庫を計画してください。既存のように男子トイレ内に計画する場合は、掃除用流しと兼ねても構いませんが、その場合十分な広さを確保してください。また、清掃用具収納庫には、棚を設置してください。

【外部計画について】

- 外部計画は、16 ページの「配置計画図（案）」を参考にしてください。待合所の敷地スペースは「新待合所エリア」内で調整中ですので、「新待合所エリア」内の特定の位置にとられない任意の位置としてください。
- 高齢者の方がフェリーに乗船するまでの移動の負担軽減のため、棧橋に近い位置になるよう配慮することが求められています。（16 ページの「配置計画図（案）」参照）
- また、接岸しようとするフェリーから「待機レーンエリア」への見通しが、新設する待合所により難しくならぬよう配慮することが求められています（17 ページの「接岸するフェリーの動線」参照）。これらを踏まえ、外部計画を提案してください。
- 待合所は下図にあるように、15m×15mの敷地スペース内に収まるよう計画してください。下図では、おおまかなゾーニング等を参考として示しています。



- リヤカー（W600mm×L2,000mm）置き場となるスペースを、事務所から見える位置（屋外）に確保してください。ただし、その位置は雨がかりとならぬよう庇下とし、風にも配慮して外壁面に近接して設けるようにしてください。
- 自販機置き場となるスペースについても、庇下で外壁面に近接する位置に確保してください。なお、自販機は既存同様に3台並べた設置を予定しています。（H180×W80×D50cm（1台）、H180×W120×D80cm（2台））
- 屋外デッキ等の施設は不要です。
- 待合所の周囲の舗装等については、参考として提案されることは構いません。（評価の対象にはなりません。）

【脱炭素社会の実現にむけて】

- ・脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現をめざし、建物のエネルギー消費量を最大限削減する計画としてください。
- ・エネルギー負荷の抑制や自然エネルギーの活用、高効率な設備システムの採用により室内環境の室を維持しつつ省エネルギー化に努めてください。
- ・断熱、日射遮蔽、自然換気などの建築計画的な手法を活用してください。

【その他】

- ・建築基準法・建築物省エネ法及び関係法令に留意して計画してください。
- ・維持管理費が過大とならないように計画してください。

(3) ローコストへの配慮について

コストを抑えた中で、魅力的な待合所を提案してください。ただし、提案作品が、創造性豊かであったとしても、審査委員会において、コストオーバーすることが懸念された場合には、選定できませんので、担当教授等と十分に検討し、「(2)イ」に記載の予定工事費内で実現可能な提案となるよう留意してください。実施コンペのため、公共施設の積算基準の内容等について担当教授等の指示を仰ぐなど、ローコストへの配慮をお願いします。

近年、公共事業の予算の縮減が進み、事業に対する費用対効果についても強く求められています。コストと建物の魅力をどのようにして両立させるか、ハードのみならずソフト面からも様々な工夫やアイデアを提案してください。

(4) 建築物の計画に関する配慮

一般的に建築物に求められる次の各項目について、明らかに配慮に欠けるものは選考に影響しますので留意してください。

ア ライフサイクルコストへの配慮

コストと耐久性の両面から工夫し、工事費や維持管理費等のライフサイクルコストの低減に配慮すること。「(2)イ」記載の工事費以下とすること。

イ ユニバーサルデザインへの配慮

誰もが使いやすく、快適に利用できること。

ウ 効率的な維持管理への配慮

清潔に保ちやすく、清掃・補修等が容易なこと。

エ 周辺環境への配慮

瀬戸内の多島美など周辺の景観に調和した施設であること。

オ 脱炭素化への配慮

建物のエネルギー消費量を抑制する施設であること。

(5) その他の条件

検討にあたっては、上記(1)～(4)に留意してください。

なお、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品は実際に建設するため、優れた提案であることと同時に特にコスト、構造、施工性について、実現性を有していることが求められます。

10 参加者の資格

日本国内の大学、大学院、短期大学、高等専門学校(本科4年・5年、専攻科)、専修学校(専門課程)、各種学校の建築関連学科に在籍する学生であること。

上記の学生により構成されたグループによる応募も可とします。なお、同一の学校の学生によるグループに加え、複数の学校の学生により構成されたグループも可とします。

※ 令和6年7月6日現在、在籍中であること。

※ 建築関連学科とは、建築学科、インテリアデザイン学科など、建築設計に関する授業を行っている学科を指します。

11 手続き等

(1) 応募登録・登録番号

本設計コンペに応募しようとする者は、県HPにある応募登録フォームにより応募登録してください。

事務局は、応募登録の受け付け後、登録内容を確認し、登録番号を交付します。登録番号は、郵送もしくは電子メールにより応募登録者(代表者)へ通知します。

◆ 応募登録フォームURL

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18712



応募登録フォーム
QRコード

ア 応募登録の受付期間

令和6年7月6日(土)から令和6年9月5日(木)まで

イ 担当教授等の承諾

最優秀作品に選定された提案者は、実施設計に参加していただきます。設計者との協議においては指導教員の指導及びアドバイスの下進めていくことを想定しているため、応募登録にあたっては、あらかじめ、担当教授等に承諾を得た上で、応募してください。

ウ 担当教授等の条件

担当教授等とは、提案者の所属学校に勤務する担当教員や教授等とし非常勤講師等は除きます。ただし、提案者の研究室等の講師であるなど、提案者に対して常に指導できる立場である場合はこの限りではありません。また、実施設計にあたっては、実施設計の経験があり、構造計画及びコスト管理のできる方またはこれと同等の方であり、学生の提案に対して十分な指導やアドバイスができることを条件とします。

(2) 提案作品の提出

提案作品の提出は、次のとおり行ってください。

なお、応募登録者1者（又は1グループ）は1つの提案作品を提出することができます。

ア 提案作品の受付期間（締切日）

令和6年9月6日（金）から令和6年9月13日（金）まで（必着）

イ 提出する図書（提案図書）

提出図書	記載内容等	部数
① 提案書 ・ A1用紙 ・ 片面横使い ・ 1枚	提案書には次の内容を記載してください。 ・ 設計趣旨 （「3 テーマ」「9 設計条件等」に照らし合わせて配慮した要旨） ・ 外観スケッチなど設計意図のわかるもの ・ 平面図（縮尺自由） ・ 立面図（縮尺自由） ・ 断面図（縮尺自由） ・ 面積表 ・ 登録番号 提案書には、用紙右上（用紙の端から概ね縦2cm×横5cmの範囲内）に、事務局から交付された登録番号を24ポイント以上で記載してください。 ※審査過程で応募登録者の匿名性を確保する必要があることから、提案書には応募登録者が特定できる事項等を記入することはできません。応募登録者が特定できる事項等が記入されていた場合には、提案作品を受け付けできませんのでご了承ください。	1部
② 作品提出届	・ 様式1 県HPから様式をダウンロードし、必要事項を記入してください。	1部
③ 電子データ (CD等)	①提案書、②作品提出届 ・ 電子データは、CD等に保存し提出してください。 ・ データ形式は、次のとおりとしてください。 ①提案書はJPEGとPDFの両方 ②作品提出届は、PDF データ容量は、 <u>それぞれ10MB以下としてください。</u>	1部

ウ 注意事項

- 提案書を手書き等で製作した後、カメラ等で撮影した写真を電子データとして提出する場合には、印刷等の使用に耐えられる解像度となるよう鮮明な画像としてください。
- 提案図書は返却しませんので、必要に応じて事前に複製しておいてください。
- 電子データ等は、審査結果、審査過程及び講評等で使用します。
- 毎年、電子データが破損した状態で提出されるケースが頻発しており、審査上支障が出ています。保存したデータが破損していないか必ず確認してください。

エ 提出場所及び提出方法

作品提出先 広島県土木建築局営繕課 営繕企画グループ 住所 〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町 1-1-20 いよぎん広島ビル6階 電話 (082)513-2311

提出に要する費用は提出者の負担となります。

持参される場合は、期間内の月曜日から金曜日（祝日・休日を除く）の9時から17時までとします。

※ 郵送の場合は、9月13日（金）17時必着とします。

※ 電子メールによる提出はできません。

12 一次審査

(1) 審査の方法

一次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定し、審査委員長特別賞等を数点決定します。

(2) 審査の基準

「4(1) 審査基準」のとおりです。

(3) 一次審査結果の発表方法

一次審査結果は、10月中旬に県HP上で発表します。また、一次審査を通過した提案者には直接通知するとともに、最終審査（二次審査）の案内を併せて行います。

なお、審査委員長特別賞の方には表彰式への案内を通知します。

13 最終審査（二次審査）

(1) 審査の方法

最終審査（二次審査）は公開審査とし提案者本人によるプレゼンテーションと審査委員による質疑応答により、提案の内容及び実現性等を審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点を決定します。

(2) 審査日程及び審査会場（予定）

審査日程： 令和6年11月16日（土）13時から18時まで

審査会場： 広島市内

(3) 審査の基準

「4（1）審査基準」のとおりです。

(4) ヒアリングの実施

- ・ヒアリングは、提案者本人によるプレゼンテーションと審査委員による質疑応答により行います。
- ・プレゼンテーションの方法は、発表時間20分以内（質疑応答10分含む）で、提案書による説明のほか、模型等を作成し、これらを用いた効果的な説明を行ってください。また、パソコンとプレゼンテーションソフトを使用した説明も可能とし、プロジェクターとスクリーンは会場に準備します。詳細は、一次審査を通過した提案者に通知します。
- ・最終審査（二次審査）を辞退または欠席した場合は、棄権として取り扱い、審査の対象から除外します。

(5) 最終審査（二次審査）結果の発表方法

- ・最終審査（二次審査）の審査結果は、当日会場にて発表し、併せて表彰を行います。
- ・後日、審査結果、審査過程及び講評を県HP上で公表します。

14 現地調査時の注意事項

現地調査は下記のとおりルールを順守した上で行ってください。

- ・期間中(7/6～9/13) 9時から17時の間で行ってください。
- ・一般の旅客船利用者が立ち入ることができない箇所（現待合所にある事務所や倉庫等）に立ち入ることはできません。
- ・現待合所の利用者、管理者及び航路事業者に直接ヒアリング等を行うことは厳に慎んでください。
- ・車や自転車等は所定の場所に停めることとし、路上駐車等は控えてください。
- ・一般の旅客船利用者、航路事業者及び周辺住民のみなさまへの配慮をお願いします。

15 実施要領に関する質問の受付及び回答

(1) 質問の受付

県HPの質問フォームにより質問をしてください。

◆質問フォームURL：

https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18713



(2) 質問の受付期間

令和6年8月9日（金）まで

質問フォームQRコード

(3) 質問に対する回答

- ・質問に対する回答は、順次、県HP上に掲載します。
- ・なお、最終回答は受付期間終了から1週間を目途に県HP上に掲載します。

※ 回答した内容によっては、実施要領を修正する場合があります。

設計条件に関する修正や追加が想定されるため、随時県HPでご確認ください。

16 最優秀作品の取扱い

- (1) 基本・実施設計は、県が別に設計事務所を選定し、基本・実施設計業務として委託します。
- (2) 最優秀作品の提案者は基本・実施設計者と協議し、周辺の環境や景観との調和等を図るとともに、工事費（コスト）や構造等の技術的な助言を、県が別に選定した設計事務所から受けることとします。（場合によっては、提案内容の見直しが必要となる場合があります。）
- (3) 最優秀作品の提案者は、実際の設計に関わっていただきます。なお、必要な旅費等は、提案者の負担となります。
- (4) 実施設計の完了まで関わっていただくことを基本とします。
- (5) 審査委員からの助言等により、修正等がある場合、最優秀作品の提案者は、提案書の内容を基本設計書として編集し直し、広島県営繕課に提出していただきますのでご了承ください。
- (6) 最優秀作品は、提案書及び実施設計参加状況の風景を県HP等で広く情報発信していく予定としていきますのでご了承ください。

17 その他の留意事項

- (1) 応募登録後、審査結果の公表の日までの間に、応募登録者（提案者）が次の各号のいずれかに該当したときは応募登録を取り消します。
 - ア 提案作品提出期限に遅れた者又は提案図書に不備がある者
 - イ 応募登録内容及び提案図書に虚偽の記載をした者
 - ウ その他、審査委員会が不適格と判断した者
- (2) 本設計コンペに係る登録料は無料ですが、応募登録、質疑及び提案作品の提出、最終審査（二次審査）等に関する費用は応募登録者の負担とします。
- (3) 提案作品等は一切返却できません。
- (4) 提出された提案図書の著作権は、その提案者に帰属することとします。ただし、最優秀作品の著作権は広島県に帰属することとし、使用权は広島県が無償で譲り受けます。
- (5) 提案図書は、選定に必要な範囲において複製することがあります。
- (6) 提案図書及び審査過程は、県HP等に掲載し公表する予定です。
- (7) 他者の著作権に抵触する画像、文書などの使用は認めません。また、雑誌、書籍、ホームページ等からの無断借用も認めません。

一次審査通過後に著作権侵害などの疑義が発覚した場合、応募登録を取り消します。また、提出作品について著作権侵害等が発覚した場合、全ての責任は提案者が負うものとなります。その他最優秀作品の提案者としてふさわしくないことが発覚した場合、広島県は、審査委員会と協議の上、優秀作品賞の案を採用することがあります。
- (8) 本設計コンペの応募登録に際して記入された氏名・住所・所属等の個人情報、統計的な応募集計に利用し、当関係者以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。

ただし、提案者に関しては、提案作品とともに、氏名・所属を県HPやマスコミリリース等で広く公表することとしておりますのでご了承ください。

- (9) 施設管理者へ電話等により直接問い合わせることは厳に禁止します。
- (10) 法規上及び予算上等の理由により、協議の上、提案内容を変更する場合がありますのでご了承ください。
- (11) 今後の社会情勢や財政事情の変化、その他不可抗力等により、事業計画の変更又は中止をする場合があります。この場合、本設計コンペの応募登録者（提案者）に対して主催者は一切の責任を負わないものとします。
- (12) この要領に定めることのほか、本設計コンペを行うために必要な事項が生じた場合は、主催者が本設計コンペ審査委員会と協議の上、これを定め、応募登録者（提案者）に通知します。
- (13) 最終審査（二次審査）会場等で、協賛企業によるアンケートやチラシの配布等が行われる予定ですのでご承知おきください。

(様式1)

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2024 作品提出届

広島県知事 様

「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2024」に基づき、提案作品を提出します。

令和6年 月 日

応募登録番号	
--------	--

提出図書チェックリスト ※チェックのないものは受け付けません。

- 提案書の用紙はA1である。
- 提案書は片面横使いである。
- 提案書の右上に登録番号を記載している。
- 提案書の文字や画像が鮮明であることを確認している。
- 提案書の電子データは、JPEG、PDFの両方を保存している。
- 電子データが破損していないことを確認している。



位置図

(出典：国土地理院 地理院地図を一部加工)

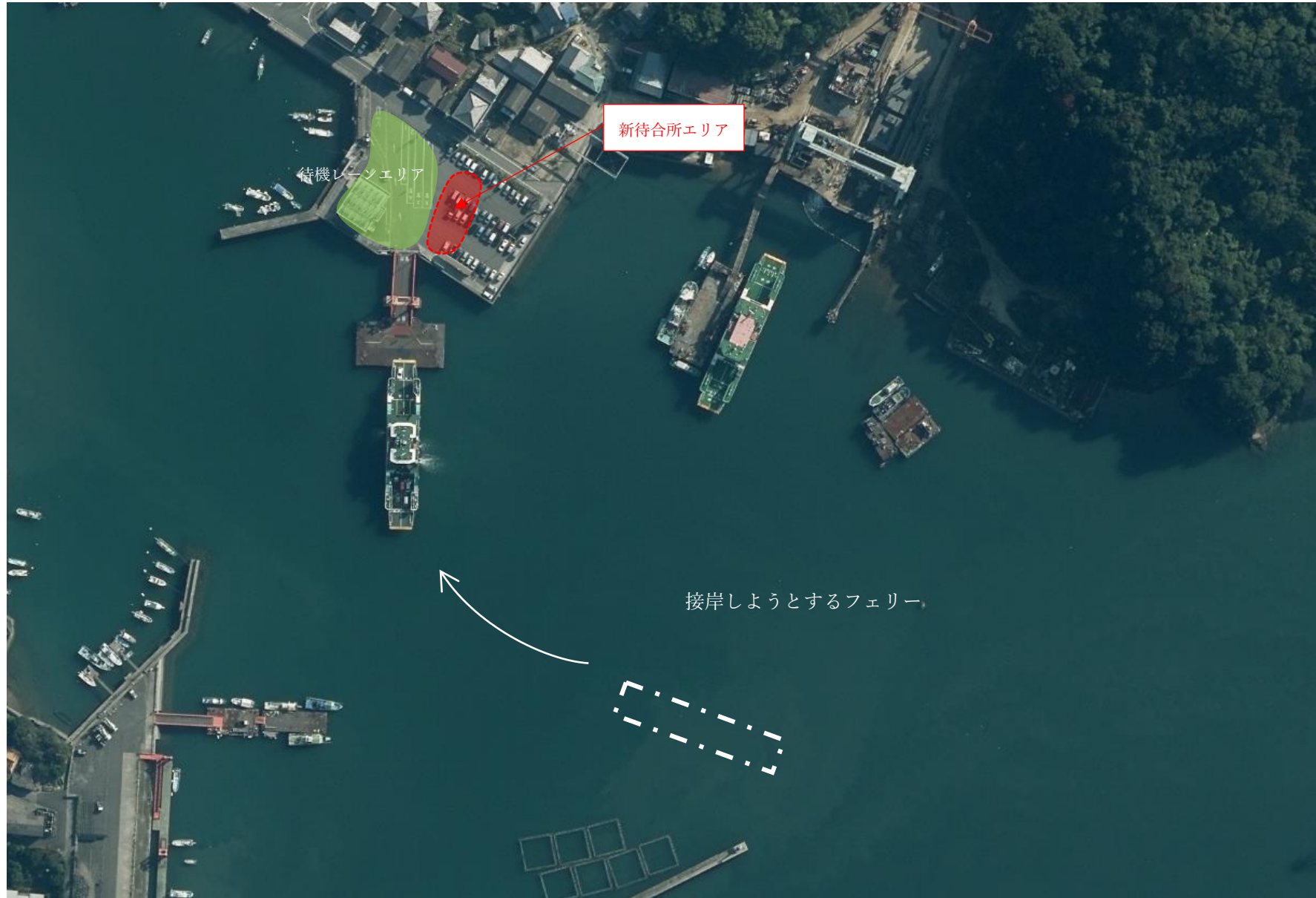


付近見取図

(出典：国土地理院 地理院地図を一部加工)

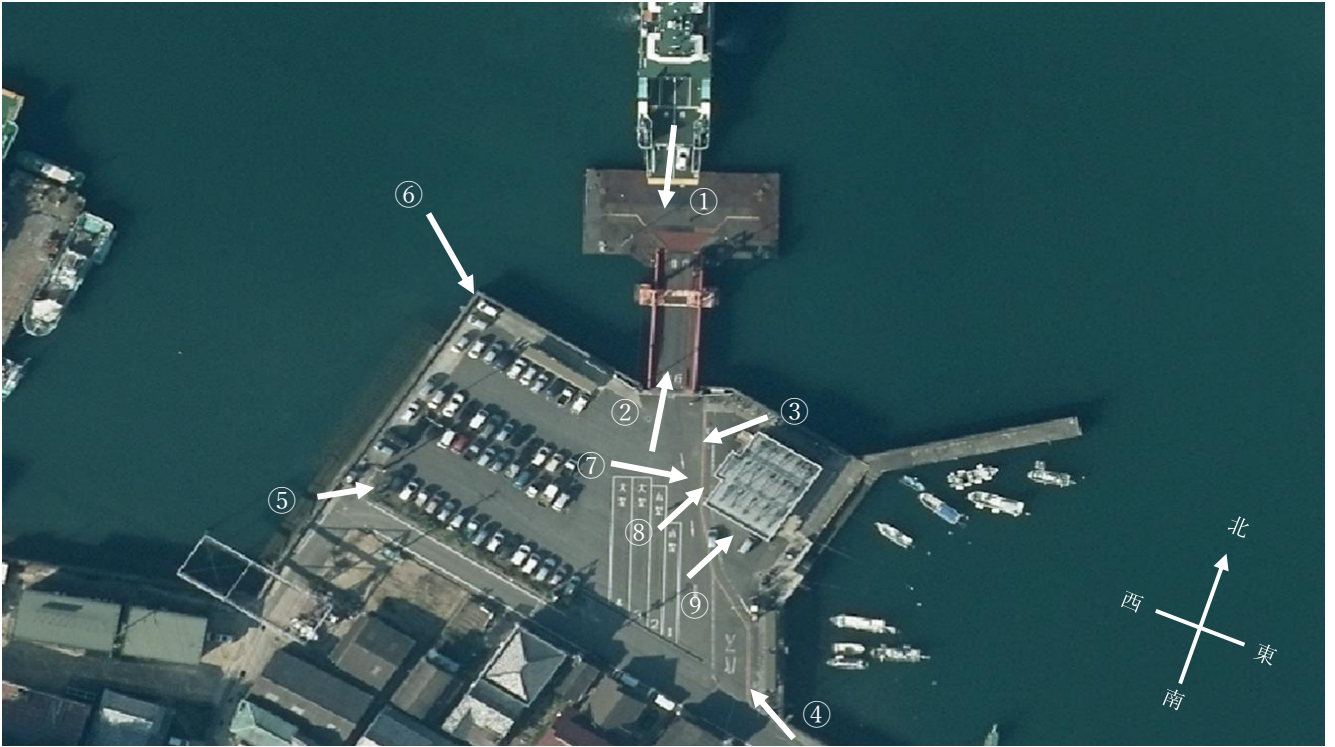


配置計画図（案）



接岸するフェリーの動線

現地写真



①



②



③



④



⑤



⑥



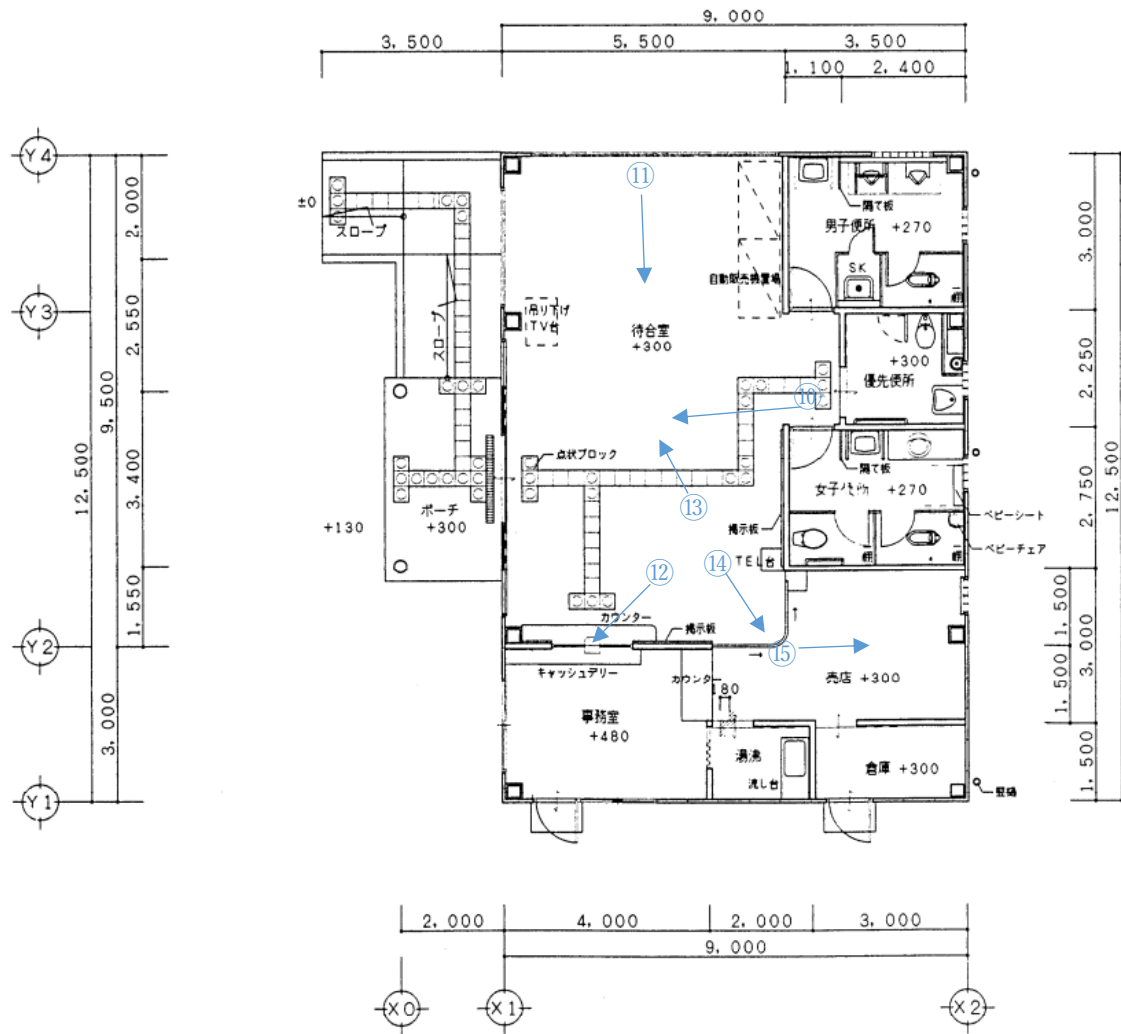
⑦



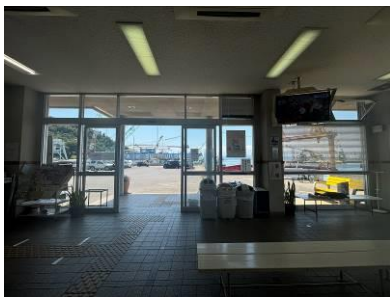
⑧



⑨



現待合所平面図(1/100)



⑩



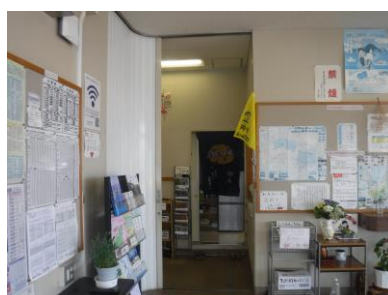
⑪



⑫



⑬



⑭



⑮